



# j.a.m. Dance Theatre

アイホールダンスコレクションvol.49



舞臺芸術とダンス・パフォーマンス・アーティストの共同制作

## フィカスと虫、 フィカスとコモス



TAKE a chance

【演出・振付・構成】相原 マユコ

【出演】久万田 はるみ 森井 淳 今田 葉子 高柳 敬靖 梶本 雅子 (CRUSTACEA)

【空間美術/フライヤーオブジェ】スエモト タモツ

【照明】芦辺 靖 【音響】宮田 充規 【舞台監督】浅野 泰生 (09) 【宣伝美術】黒田 武志 (sandscape)

【日時】2007年3月17日(土) 19:30 / 18日(日) 13:00 17:00

\*開場は開演の30分前、開演1時間前より受付開始。入場整理券を発行します。

\*未就学児童の入場はご遠慮ください。ただし、18日(日)13:00の回のみ、未就学児童同伴のお客様にもご覧いただけるよう、年齢制限は行いません。

【会場】アイホール 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1 TEL:072-782-2000

【チケット】一般/前売 ¥2300 当日 ¥2500 学生&ユース(25歳以下・要証明証)/前売 ¥1800 当日 ¥2000

【チケット取扱い】●電子チケットぴあ → <http://pia.jp/t/> (Pコード 374-387)

●JCDNダンスリザーブ → <http://dance.jcdn.org/> (オンラインチケット予約サービス)

●アイホール → 072-782-2000 [aihall@juno.ocn.ne.jp](mailto:aihall@juno.ocn.ne.jp)

●j.a.m.Dance Theatre(予約のみ) → [mail@jamdt.com](mailto:mail@jamdt.com)

\*お問い合わせ：アイホール TEL:072-782-2000 FAX:072-782-8880 [aihall@juno.ocn.ne.jp](mailto:aihall@juno.ocn.ne.jp)



JR大阪駅より宝塚線利用 約15分  
阪急梅田駅より神戸線塚口乗換伊丹線 約22分

平成18年度文化庁芸術拠点形成事業  
助成:財団法人地域創造  
主催:伊丹市・財団法人伊丹市文化振興財団

j.a.m.の作品は、他に括りようが無いので、たまたまダンスに分類されている。  
Dance Theatreというのは、創造を規定する為の名前ではなく、  
既成の枠には縛られずに、作りたいようにつくるという意思の現れだろう。

藤本 隆行 : dumb type / Refined Colors

stage gallery



写真:イトウユウヤ

### 「静かに晴れた夜には」

2005.3.12~13 神戸アートビレッジセンター(神戸)

逆さまに吊られた椅子とテーブル。まるで鏡のような湖面が2つに分けた両側の世界を、行き来する人々を連想させる作品。ロシアの作家チェーホフの描く人物をモチーフにシーンを展開させた。



写真:イトウユウヤ

### 「ダミー・ピープル」

2005.10.29~30 アイホール(伊丹)

冒頭の20分間に延々と続く円舞、似ているようでまったく違う人々、ラスト寸前でぶちまけられる大量のカラスの黒い羽根。ポーランドの芸術家タデウシュ・カントルにインスパイアされた作品。



写真:阿部綾子

### 「カルロ×カルロ」

2006.3.11~12 Art Theater dB(大阪)

9.15~16 CAPa(ファーフ/ポルトガル)

9.21~22 TEATRO TABORDA(リスボン/ポルトガル)

牢屋のように張りめぐらされたロープの中で繰り返される男女による奇妙な世界。サーカスの見世物小屋を彷彿とさせられる作品だが果たして観客は見ているのか、それとも…。

## j.a.m. Dance Theatre PROFILE

ジェイ・エイ・エム・ダンスシアター：2002年、近畿大学文学芸術学部演劇・芸能専攻卒業生と美術を手がけるスエモトタモツらで結成。「ソロ×デュオ <compétition>」「ネクスト・ネクスト4」「KAVCチャレンジシアター」「dB Physical Arts Festival 大阪BABA」等、関西一円、東京、横浜などで数々の作品を発表。2005年度よりアイホール「Take a chance project」(主催:伊丹市・財)伊丹市文化振興財団)に選出され、新作公演の機会を与えられる。この他国内の活動にとどまらず、韓国、ポルトガルでの海外のダンスフェスティバルにも招聘され、活動の幅を広げている。今を生きている自分の感覚を大切に、観客をはじめ、そこに関わるもののイメージーションをかき立てる作品づくりを目指す。